民主主義への歩み

韓国、軍事独裁から民主化へ、そして今

《先日、『朝日新聞』のファン・チョル論説委員から「8月30日に国会議事堂を囲んだ若者たちの姿を、どう評価するのか」と取材されました。彼らの行動はまさに、40年前の私たちの姿です。ファン論説委員は私の言葉を次のようにコラムで表現しました。今の私の心境が、よく反映されていると思うのでこれを結びにします。

「努力しても、今は成果が出ないかもしれない。でも歎く必要はない。訴えは蓄積され、きっと実を結ぶ。わたしの無罪も、人々が世代を継いで積み重ねた民主化の結晶だったのではないでしょうか。」(9月7日付『朝日新聞』名古屋版夕刊)。》

★NPO法人三千里鐵道ブログより http://blog.goo.ne.jp/sanzenri2010

【康宗憲さんプロフィール】

奈良県生まれの在日韓国人。軍事独裁政権時代の韓国で大学生の頃1975 年に「北朝鮮のスパイ」の冤罪をかけられ反共法・国家保安法違反で捕まり、死刑判決が確定。その後無期懲役に減刑され 1988 年に仮釈放、1989 年に帰日。大阪大学などで非常勤講師を勤め、アジアの現代政治、国際平和などの科目を担当している。2012 年に再審請求が認められ2013 年にソウル高裁で無罪判決が出て 2015 年 8 月に大法院で確定。

■日時　10 月 21 日(水)

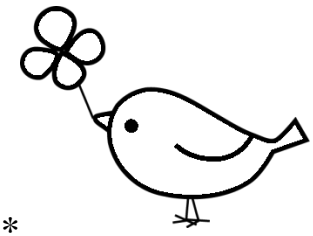
18 時 30 分～20 時 30 分

■会場　ウィルあいち セミナールーム１・２

■講師　康宗憲（カンジョンホン）さん

■資料代　500 円

■主催　秘密保全法に反対する愛知の会



＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

軍事独裁政権のもとで、民主化を目指す運動と自由な言論を封殺するために、韓国では様々な弾圧事件がいくつも起きたこと。多くの市民がめげずに民主化運動をつづけ、何年も何年もかけて軍事政権を倒したこと。秘密保護法ができて軍事国家化に急速に向かう日本では、全く他人事とは思えません。隣国の経験から、今の日本に活かすべき教訓と希望を学びます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■お問い合わせ　秘密保全法に反対する愛知の会（名古屋北法律事務所気付）　TEL　052-910-7721